

【開講日】令和元年11月15日(金)

三鷹サテライト教室

文学

三鷹

312028e

【連続講座】太宰治 生誕110周年記念

太宰治の場所

— 『富嶽百景』『津軽』『グッド・バイ』を中心に —

受講料 (振込額)	1,500円 ※連続講座「太宰治 生誕110周年記念」全7講座お申し込みの場合10,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	金曜日		日程 11月15日	
	時間	15:00～16:30			
	回数	全1回	定員		50名 (全7回講座と合算)
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学教授・本学武蔵野文学館館長 土屋 忍 (つちやし のぶ)				
	早稲田大学政治経済学部、(株)電通社員、東北大学大学院助手(国際文化)、日本学術振興会特別研究員(国文学)を経て現職。文学博士。主著に『南方徴用作家—戦争と文学—』(共著、1996年、世界思想社)、『近代の夢と知性』(共編著、2000年、翰林書房)、『〈外地〉日本語文学論』(共著、2007年、世界思想社)、『松尾邦之助—長期滞在者の異文化理解—』(編著、2010年、柏書房)、『武蔵野の教壇に立った文学者 土岐善麿・秋山駿・黒井千次』(監修、2011年、武蔵野文学館)、『武蔵野に迷う 保谷・三鷹・小金井の作家たち』(監修、2012年、武蔵野文学館)、『武蔵野文化を学ぶ人のために』(編著、2014年、世界思想社)、『〈外地〉日本語文学への射程』(共編著、2014年、双文社出版)などがある。NHKのドキュメンタリー番組の台本制作や文学映画のプロデュースにも関わっている。映画「たまらん坂」ではマルセイユ国際映画祭ワールドプレミアに入選。				
内容	太宰治の描く場所と太宰治の居た場所とは異なるが、両者には密接に関連があるように見えます。『富嶽百景』(1939年)、『津軽』(1944年)、『グッド・バイ』(1948年)などの代表作を通して太宰が小説で描いた場所を辿り、その文学空間を旅してみたいと思います。甲府、津軽、新宿などが舞台となるわけだが、もちろんここ三鷹も登場します。太宰にとっては、永住の地であり終焉の地であり作中の舞台でもある三鷹とは、どのような場所だったのでしょうか。その位置づけについてもあわせて考えたいと思います。 ※参考図書：『三鷹という街を書く太宰治』Dioの会 はる書房				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

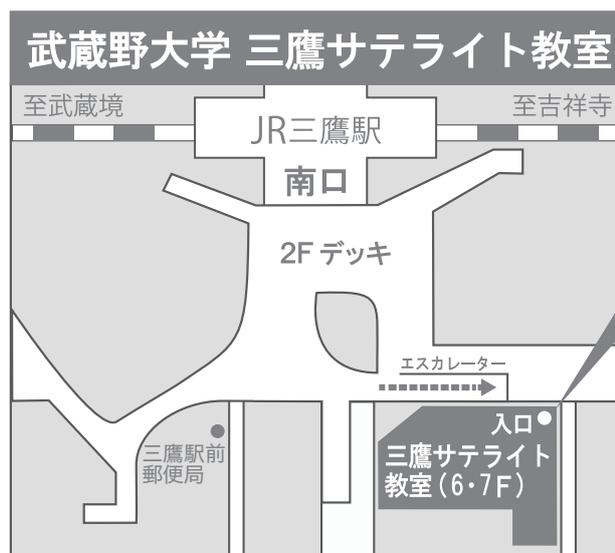
お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00
：土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 生涯学習事業課

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。